

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和8年 1月 日

協議会名:石狩市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石狩庁舎以北における公共交通の課題分析及び運行計画の立案 ・AIデマンド交通「いつも」の運行計画立案 ・石狩市地域公共交通利便増進実施計画(案)の作成 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後廃線となる路線バスの詳細な利用実態について分析し、代替交通の検討条件とした上で運行計画を立案した。 ・AIデマンド交通「いつも」の実証運行利用実績及び運行上の課題について分析し、改善点を把握した上で、本格運行計画を立案した。 ・立案した運行計画について、地域住民との意見交換会や協議会での議論を踏まえ修正案を検討し、石狩市地域公共交通利便増進実施計画(案)としてとりまとめた。 	A	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、協議会による協議を経て、令和8年1月末に石狩市地域公共交通利便増進実施計画として最終的にとりまとめ、令和8年2月に認定申請を予定。利便増進実施計画の概要は次の通り。 <p>対象区域 石狩市内全域 計画期間 令和8年度から令和12年度 利便増進事業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 通勤デマンドの本格運行 2 本町花川線の運行 3 厚田花川線の運行 4 石狩庁舎前バス停留所の集約化 5 共通予約システムの導入 6 キャッシュレス決済方法及び割引制度の導入 7 公共交通冊子等による情報提供



概要

石狩市は、人口減少や高齢化が進行し、利用者減少など公共交通の持続可能性が低下する中、地域公共交通を再構築するため、令和5年度に「シン・石狩市地域公共交通計画（インカリモビリティ2030）」を策定した。石狩湾新港地域への路線バス廃線（令和5年度末）や石狩庁舎以北の路線バスの廃線が決定し、代替交通の構築が急務となっている。そのため、地域公共交通計画に基づき、多様な手段による効率的・効果的な公共交通の再構築により、地域住民等の移動に対する利便増進を図るため、「石狩市地域公共交通利便増進実施計画」を策定する。

○地域公共交通の課題

- ・路線バス廃線に伴う交通空白地における移動手段の確保
- ・石狩湾新港地域における効率的な移動手段の確保
- ・担い手不足に対応した効率的な運行体系への再構築
- ・地域の関係者の『共創』による利便性・持続可能性・生産性向上 等

○調査の主な内容

- ・石狩庁舎以北における公共交通の課題分析及び運行計画の立案
- ・AIデマンド交通「いつモ」の運行計画立案
- ・石狩市地域公共交通利便増進実施計画（案）の作成

○地域公共交通活性化協議会開催状況（令和7年度）

- 令和7年4月24日 第1回協議会
・協議会設置要綱の改正、今年度事業計画等
- 令和7年6月23日 第2回協議会
・石狩庁舎以北の路線バス廃線予定及び代替交通案等
- 令和7年8月21日 第3回協議会
・利便増進実施計画策定業務概要、石狩庁舎以北の代替交通（修正案）等
- 令和7年9月10日 第4回協議会
・石狩庁舎以北の代替交通（修正案）【継続協議】等
- 令和7年10月28日 第5回協議会
・石狩庁舎以北の代替交通（修正案）【継続協議】等
- 令和7年12月24日 第6回協議会
・AIデマンド交通本格運行案、利便増進実施計画案等
- 令和8年1月26日 第7回協議会
・利便増進実施計画、計画策定に係る事業評価等

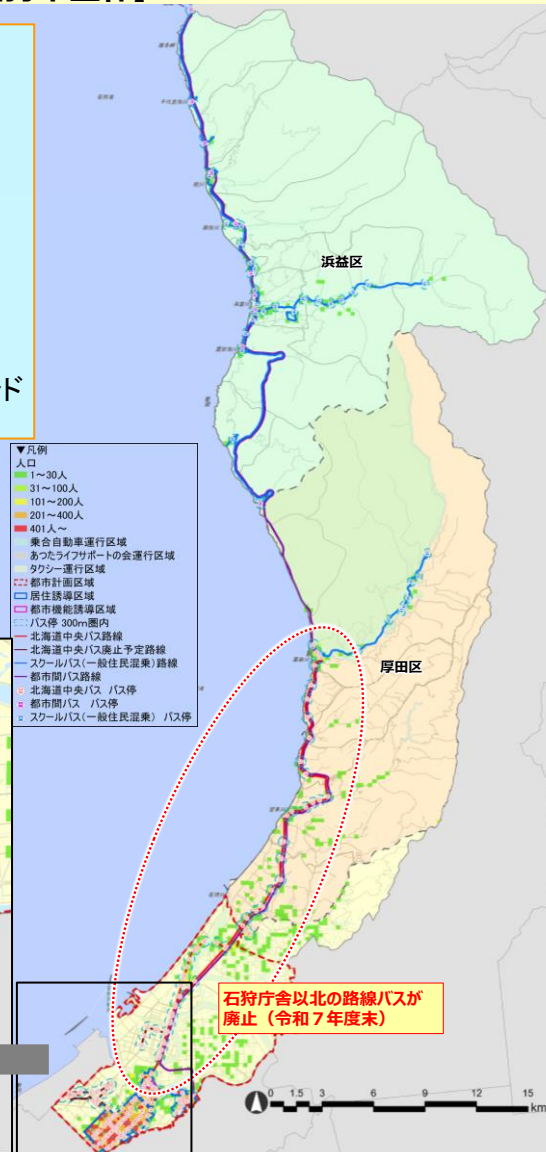
公共交通の概要

【石狩市全体】

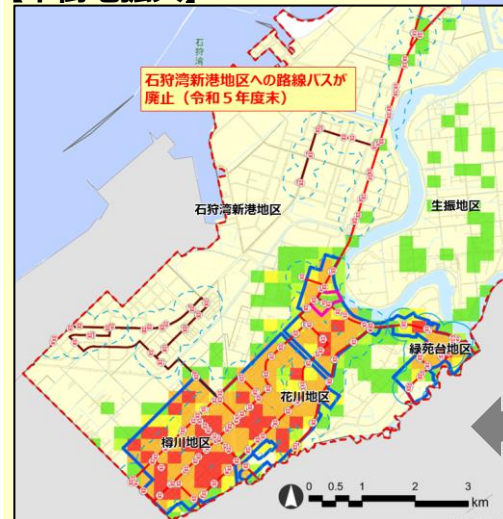
○地域公共交通の現況

（令和8年1月現在）

- ・北海道中央バス株式会社（市内11路線16系統）
- ・沿岸バス株式会社（市内1路線）
- ・自家用有償旅客運送（市内2路線）
※浜益厚田間、浜益滝川間
- ・スクールバス（10路線）（混乗含む）
- ・タクシー会社2社
- ・AIデマンド交通「いつモ」市内デマンド
- ・その他実証運行路線複数あり



【市街地拡大】



石狩市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【石狩庁舎以北における公共交通の課題分析及び運行計画の立案】

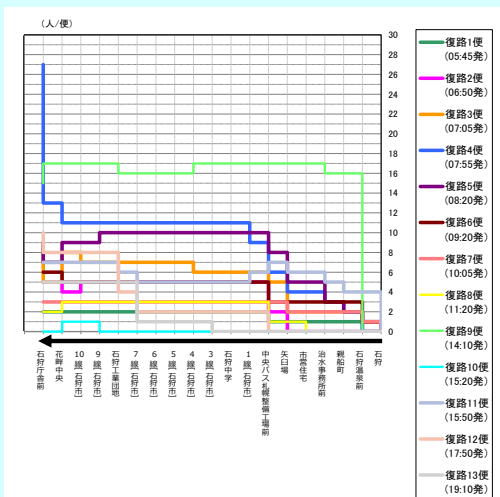
①公共交通の課題分析

- 廃線予定となる石狩庁舎以北の路線バス3路線（石狩線、石狩線（トーメン団地）、厚田線）について、路線バス乗降客数データを基に詳細な利用実態について分析し、代替交通の検討条件（ダイヤ、車両規格等）とした上で運行計画を立案した。

②運行計画の立案

- 代替交通案として、デマンド交通（区域運行）となる本町花川線（石狩線の代替）及び厚田花川線（石狩線（トーメン団地）及び厚田線の代替）の運行形態、ダイヤ等の運行計画を立案した。

▼路線バス詳細利用実態の分析 （例：石狩線）



▼石狩庁舎以北の路線バス廃線による影響



▼代替交通運行計画の検討 《本町花川線》



《厚田花川線》



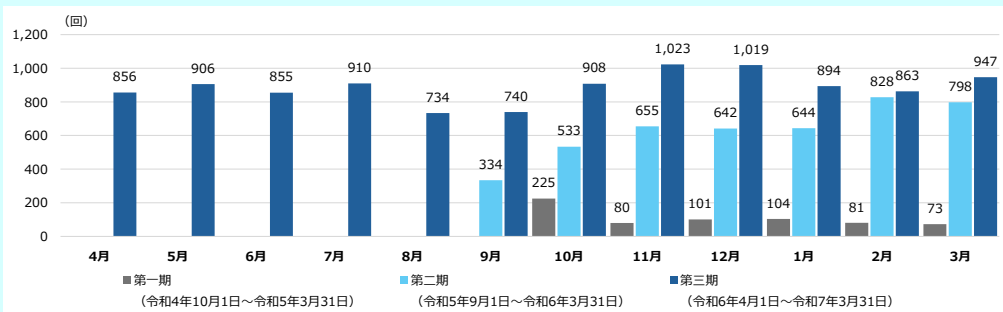
石狩市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

【AIデマンド交通「いつモ」の運行計画立案】

- AIデマンド交通「いつモ」実証運行のこれまでの利用実績及び運行上の課題等について分析し、改善点を把握した上で、本格運行計画を立案した。
- 市内交通結節点と石狩湾新港地域をピストン輸送する交通体系とすることで、輸送力向上と事業の持続性向上を図る運行体系とした。

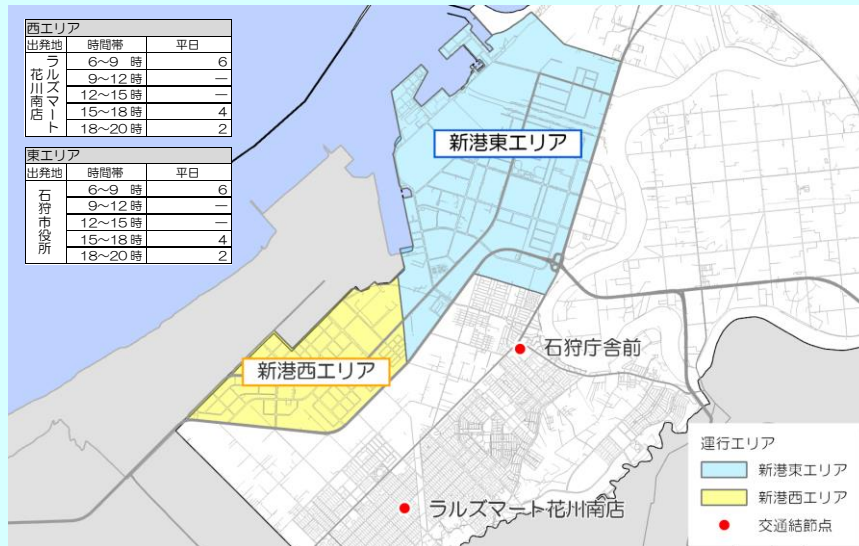
▼通勤デマンド実証運行の利用状況 (令和4年度～令和6年度)



【石狩市地域公共交通利便増進実施計画（案）の作成】

- 立案した運行計画について、地域住民との意見交換会（全15回開催）や協議会での議論を踏まえ修正案を検討し、石狩市地域公共交通利便増進実施計画（案）としてとりまとめた。

▼通勤デマンドの本格運行計画の検討



石狩市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

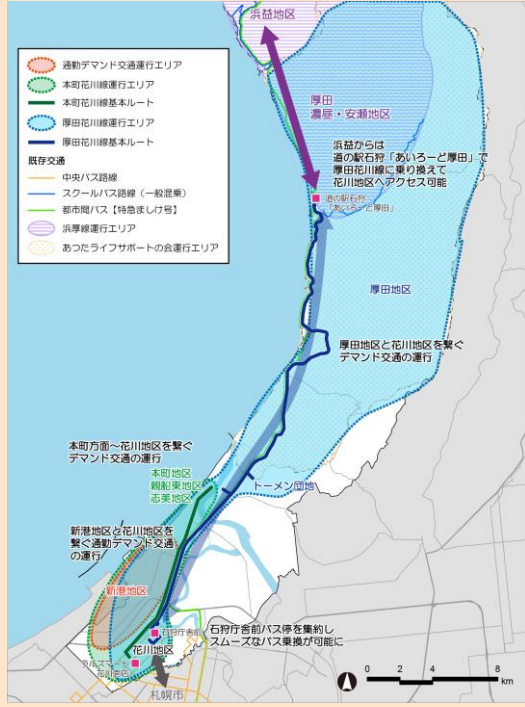
【シン・石狩市地域公共交通計画（イシカリモビリティ2030）概要】

基本理念 『まちの持続』に向けた地域公共交通の実現						
基本方針① 多様な手段による効率的・効果的な地域公共交通ネットワークの再構築						
目標① 階層的な地域公共交通ネットワークの形成による効率性の向上						
目標② 多様な交通手段の活用による持続可能な移動手段の確保						
基本方針② 誰もが便利に利用出来るシームレスな利用環境の創出						
目標③ 円滑に乗換・適合可能な交通結節点の創出						
目標④ 利便性の高いダイヤ設定や運行情報発信の充実化						
基本方針③ 地域特性に応じた公共交通利用促進策の推進						
目標⑤ 公共交通を利用する市民意識の醸成						
基本方針④ 地域公共交通の担い手確保に向けた取組の推進						
目標⑥ 担い手確保による移動手段の維持確保						
今後の施策	基本方針①		基本方針②		基本方針③	基本方針④
	目標①	目標②	目標③	目標④	目標⑤	目標⑥
施策1 地域公共交通サービスの維持確保及び改善	●	●		○		
施策2 基幹交通の確立に向けたバス路線再編及びBHLS導入の検討	●			○		○
施策3 AIオンデマンド交通『いつモ』の本格運行	●	●		○		
施策4 バス交通空白地における移動手段の確保	●	●				
施策5 交通結節点の創出に向けた検討			●	○		
施策6 デジタル技術を活用した公共交通に関する情報発信機能の強化				●	●	
施策7 公共交通の利用促進に向けた取組の推進					●	
施策8 公共交通の担い手確保に向けた取組の推進						●

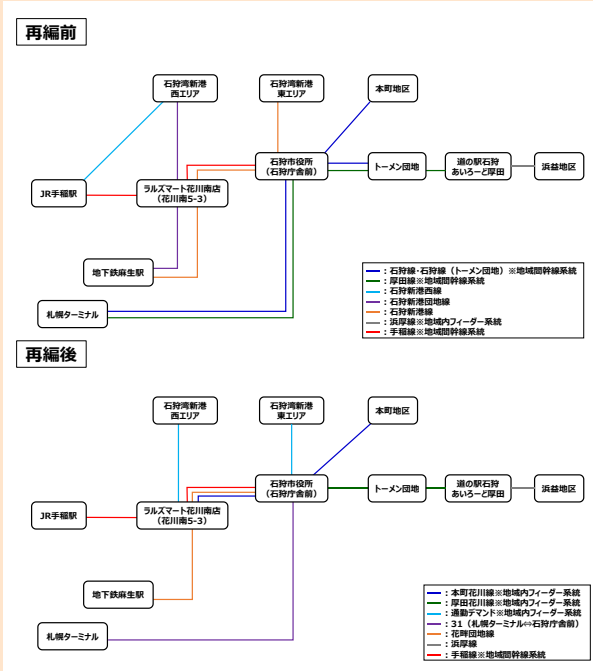
【石狩市地域公共交通利便増進実施計画における事業概要】

施策3. AIオンデマンド交通『いつモ』の本格運行
通勤デマンドの本格運行
施策4. バス交通空白地における移動手段の確保
本町花川線 <small>の運行</small>
厚田花川線 <small>の運行</small>
施策5. 交通結節点の創出に向けた検討
石狩庁舎前バス停留所の集約化
施策6. デジタル技術を活用した公共交通に関する情報発信機能の強化
共通予約システムの導入
施策7. 公共交通の利用促進に向けた取組の推進
キャッシュレス決済方法及び割引制度の導入
公共交通冊子等による情報提供

▼再編後の公共交通体系概要



▼再編前後の公共交通体系模式図



石狩市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【石狩市地域公共交通利便増進実施計画における主な事業】

【通勤デマンドの本格運行】

- 路線バス廃線によりバス交通空白地となった石狩湾新港地域に対して、交通結節点と石狩湾新港地域をピストン輸送する通勤デマンドを運行し、操業企業就業者のニーズに応じた公共交通サービスを提供する。
- 地域全体を対象区域とすること、往復回数を増加することで、地理的・時間的交通空白が解消される。

【本町花川線・厚田花川線の運行】

- 石狩庁舎以北の路線バス廃線によりバス交通空白地となる本町地区・厚田地区等に対して、デマンド交通による代替交通を運行し、地域住民の生活交通を確保する。
- バス交通空白地化を解消するとともに、市内医療・商業施設へのアクセスを可能とすることで、日常生活（通院・買い物等）における移動利便性を向上する。

今後、協議会による協議を経て、令和8年1月末に石狩市地域公共交通利便増進実施計画として最終的にとりまとめ、令和8年2月に認定申請を予定

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄